

—病院理念— 「愛し愛される病院」

—基本指針—

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもしろい」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

～心臓病予防・発見のすすめ～

内科 吉江 祐 医師

心臓病について

心臓病は生活習慣病の一つとして、脳卒中とならんで有名です。(脳卒中も同様ですが)心臓病はあらかじめ予防することが重要になります。

心臓病は、自覚症状に乏しいものも多く、合併症を起こして初めて自覚症状が出現し、病気が発見されるケースがまれではありません。また不可逆的な(元通りに戻らない)障害が残ってしまうのも、大きな特徴です。

例えば、心臓の血管が動脈硬化を起こすことによって生じる病気「心筋梗塞」は激しい胸痛が特徴ですが、中には(特に高齢者では)何も自覚症状がなく知らないうちに起こしているものも多く、後々になって「心不全」(ポンプの働きが不十分になり様々な症状を引き起こす病態)を起こし、発見されるケースがしばしば見られます。

また比較的多いのは、高血圧を未治療または不十分な治療のまま、自覚症状なしに長年経過していた方が、気付かない間に心



臓肥大が徐々に進行していて、ある日突然心不全を起こすケースです。さらにこのような方は「心房細動」という不整脈を合併する場合がありますが、これは重症な脳梗塞を起こす原因になります。脳梗塞をきっかけに、こういった病気が発見されるケースが、近年非常に多くなっています。

知らないうちに、あなたも何らかの心臓病を抱えているかもしれません。高血圧症・高脂血症・糖尿病などをお持ちの方は、それらの病気の治療を徹底することで、予防することができます。肥満の是正や禁煙も重要です。

早期発見のために

毎年実施される区民健診や職員健診を有効利用しましょう。心電図やレントゲン検査にて異常を指摘された方は、精密検査を受けることをおすすめします。超音波検査などは短時間で手軽にでき、得られる情報量も多い検査です。気になる方も、念のため受けられることをお勧めします。かかりつけ医がいる場合は、気軽に相談してみましよう。



患者満足度調査～H20.5・H20.10実施分～

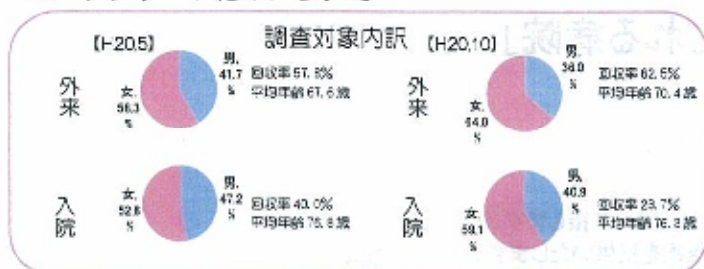
1. 目的

患者様に満足いただける医療を目指し、病院運営に反映させるため、患者様が当院についてどのように思われているのかを調査しました。

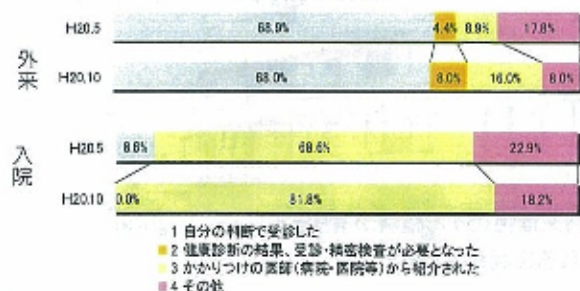
2. 対象と方法

H20年5月及びH20年10月の外来受診・入院患者を対象に当院に関するアンケートを実施。

3. アンケート結果について

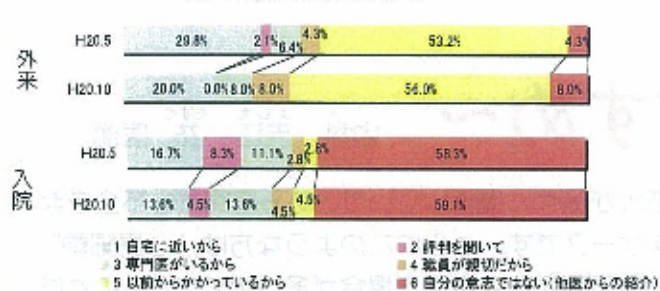


1. 来院の経緯



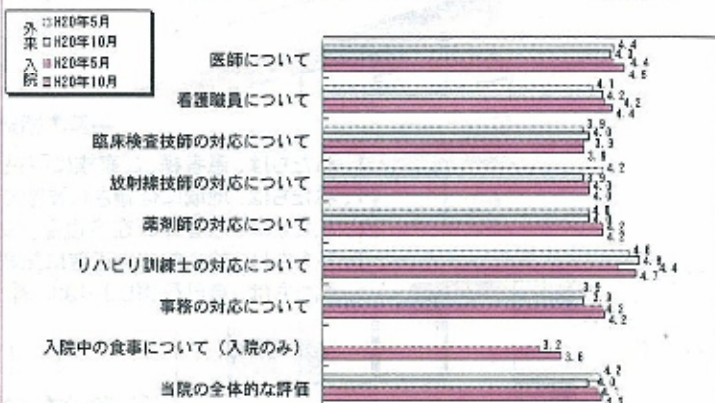
- 1 自分の判断で受診した
- 2 他家診断の結果、受診・精密検査が必要となった
- 3 かかりつけの医師(病院・医療等)から紹介された
- 4 その他

2. 当院を選んだ理由



- 1 自宅に近いから
- 2 評判を聞いて
- 3 専門医がいるから
- 4 職員が親切だから
- 5 以前からかかっているから
- 6 自分の意志ではない(他院からの紹介)

3. 当院に関する評価 (5段階評価)



まず、【1. 来院の経緯】および【2. 当院を選んだ理由】では5月・10月ともに外来で「自分の判断で受診」をし、「以前よりかかっているから」という理由で当院へ来院している割合が高く、いずれも50%を超えています。また入院では、他病医院の医師の判断のもとで紹介による来院・入院の運びとなったケースが5月・10月ともに60%近くを示しました。

医師、看護職員など、【3. 当院に関する評価】としては、5段階評価中すべて3.0を上回っており、5月から10月にかけての変化は9項目中6項目で評価上昇がみられます。変化がなかった項目、低下した項目については、患者様にいただいた具体的なご意見・ご要望にも食事、検査内容、職員の対応などがあり、すぐに改善可能なものから検討が必要なものとなりますが、今後さらに向上を目指し努めていきたいと思っております。

接遇委員会

インフルエンザについて

まずは予防をすることから！！うがいと手洗いの習慣を。



インフルエンザは、急な発熱と痛みなどの全身症状を伴うのが特徴で、毎年12月～3月に流行します。インフルエンザウイルスは毎年変化しており、過去数十年おきに大きな変化があり、新型インフルエンザとなって世界中で多くの死亡者を出してきました。

まずは予防することですが、効果があるのは、予防接種・人ごみを避ける・マスクをする・うがいをする・部屋は加湿する等ですが、どれも万能ではありませんので、できるだけ色々やってみましょう。食事や睡眠等で体力をつけておきましょう。

予防接種のワクチンは毎年変わっていま



すので、毎年11月中旬を目安に予防接種をしましょう。予防接種をしてもインフルエンザにかかる時がありますが、症状の悪化を防ぐ効果があります。



もし、かかってしまったら・・・咳(せき)エチケット。

インフルエンザにかかってしまったら、他人にうつさないようにしましょう。インフルエンザにかかっている人が咳やくしゃみをする時、1メートルくらいの範囲にインフルエンザウイルスを大量にばら撒きますので、マスク等をせずに近づくと感染します。咳エチケット(咳をする時は、最低限ティッシュなどで口と鼻を覆う)を行い、早めに医師の診察を受け、安静にしましょう。

現代の発達した交通機関はウイルスを日本中に運んでいます。流行中はマスクすることをお勧めします。

はせがわ かずまさ

薬剤師 長谷川 和正

★特集★ リハビリテーション科 ~作業療法士編~

作業療法では、ご本人様らしい生活をしていくために、そこに必要なからだの機能や動作する能力の回復や新たな可能性のために「作業活動」を用いて訓練、指導、援助を行っています。



この「作業活動」とは、日常生活での動作、仕事、趣味など私たちの生活全般に関わるすべての活動のことで、特別な訓練方法ではなく、生活に必要な動作を実践していくことで、それが訓練や支援となっていきます。

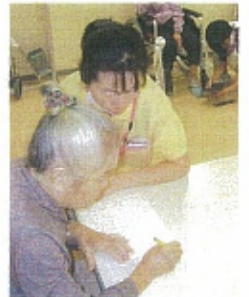
作業療法士は、患者様の生活場面における問題点を見つけ、主に食事、着替え、排泄動作などの日常生活に必要な活動を通して訓練を行います。具体的には、食事では、適切な姿勢で食事ができているかどうか、使いやすいスプーンや食器などを勧めたり、スプーンを握って操作をしたりする練習を行います。着替えでは、特に片麻痺の方には着替えやすい手順を覚えて、ひとりで着替えができるように練習しています。排泄動作では、トイレへ行くまでの移動方法や便器へ乗り移りする訓練、バランスを取るのが難しい、立って行うズボンの上げ下げなどを実際にトイレに行き練習しています。



このように患者様の新たな生活を想定して、退院後の生活がすぐに始められるように、生活そのものにしっかりと活かせる訓練や指導を行っています。



私たち作業療法士は、患者様の新しい生活実現のために、患者様と一緒に訓練に取り組み、ともに向き合い、励ましあえるように、誠意を持って、毎日がんばっています。



ひのとしこ
作業療法士 日野 稔子

東京都医業健康保険組合 主催

バレーボール大会 優勝

平成20年11月22日(土)に東京都医業健康保険組合主催のバレーボール大会が開催されました。

21チームが参加する中、初出場となった当院のバレーボールチームは、見事トーナメントを制し、優勝することが出来ました！

メンバーは7人しかおらず、1日で5試合をこなすのも体力的にも辛かったのですが、また次回も挑戦し、連覇を目指します！！ 主将 長谷川 彩子



クリスマス会



平成20年12月18日に第2回クリスマス会が行われました。

患者様・ご家族・職員合わせて、総勢約100名以上が参加し、盛大に行われました。

患者様にもいきいきとした表情が見られ、楽しんでいただけたのではないかと思います。

特に職員による演奏会が好評で、患者様と一緒に歌を唄ったりしました。

また、クリスマス会以外にも患者様・ご家族を含めたイベント等を行ってまいります。

～当院の現況～

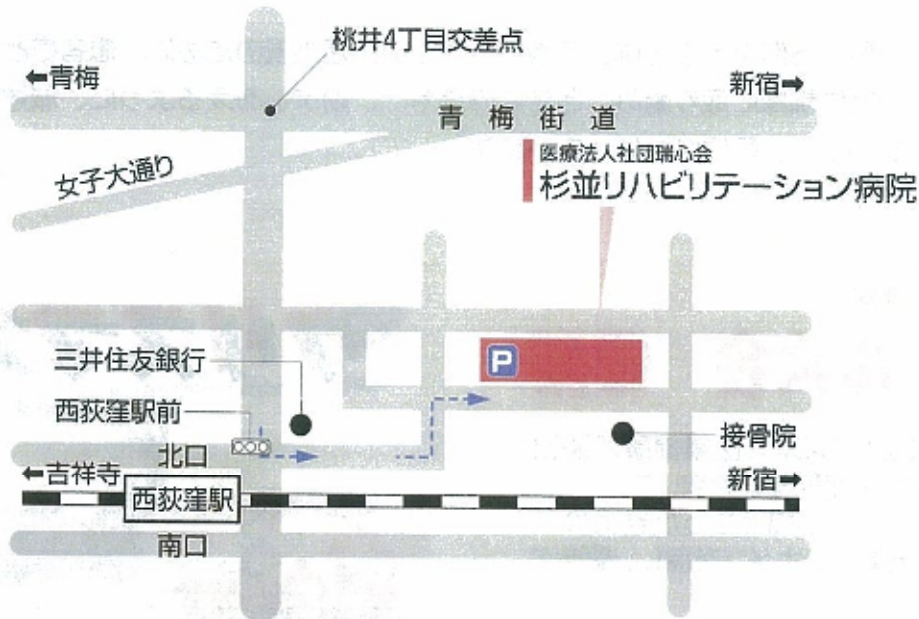
平成20年10月 平成20年11月 平成20年12月

稼働率	98.3%	96.1%	98.8%
入院延べ患者数	3125人	2940人	3128人
在宅復帰率	62.2%	62.1%	60.6%
重症患者割合	29.2%	38.2%	35.1%
重症患者回復病棟改善割合	69.2%	85.7%	66.6%

* 重症患者・・・日常生活機能評価で10点以上の新規入院患者の割合

* 重症患者回復病棟改善・・・重症患者のうち3点以上の者が改善している割合

交通のご案内



- JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分
- 青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km
西荻窪駅前信号を左(一方通行)

病院概要

開院	昭和43年10月
理事長	中村 康彦
院長	阿部 穰
病床数	101床(4床室・個室)
診療科目	内科・リハビリテーション科
診療時間	毎週 月・火・水・木・金 9:00~12:30
発行責任者	阿部 穰
発行	杉並リハビリテーション病院 広報委員会

医療法人社団 瑞心会
杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5
 TEL.03-3396-3181 (代) FAX.03-3396-3186 (代)
<http://suginami-reha-tokyo.jp/>